

【 小学校 図画工作 】

所属名 青森県総合学校教育センター
職名・氏名 指導主事 伴 貴代

【報告書のポイント】

■ 図画工作科の学習指導要領改訂のポイント

■ 図画工作科におけるICT活用

■ 図画工作科の指導の改善について

- ・育成を目指す資質・能力を明確にする
- ・主体的・対話的で深い学びの視点から指導計画を考える

学習指導要領改訂のポイント (1) 目標の改善

小学校図画工作科の目標

表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、作品などに対する自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。

小学校図画工作科の目標

表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。
「知識及び技能」
- (2) 造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をし、作品などに対する自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
「思考力、判断力、表現力等」
- (3) つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。
「学びに向かう力、人間性等」

小学校図画工作科の目標

表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。
知識
- (2) 造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をし、作品などに対する自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
技能
- (3) つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。

学習指導要領改訂のポイント (1) 目標の改善

小学校図画工作科の目標

A表現を通して育成する「思考力、判断力、表現力等」と「B鑑賞」の双方に重なる資質・能力

A表現を通して育成する「思考力、判断力、表現力等」に関する資質・能力

(2) 造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、**創造的に発想や構想をしたり**、作品などに対する自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

B鑑賞を通して育成する「思考力、判断力、表現力等」に関する資質・能力

5

学習指導要領改訂のポイント (1) 目標の改善

小学校図画工作科の目標

表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。

学びに向かう力、人間性等

(2) 造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、**創造的に発想や構想をしたり**、作品などに対する自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

(3) **つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。**

6

小学校図画工作科の目標

教科の目標の実現に向けて、(1)、(2)、(3)を相互に関連させながら育成する

表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や道具を使い工夫して、**創造的**につくったり表したりすることができるようにする。
「知識及び技能」
- (2) 造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、**創造的**に発想や構想をつくり作品として表現する。自分の見方・感じ方を深めたりすることができるようにする。
「思考力、判断力、表現力等」
- (3) つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を**創造**しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。
「学びに向かう力、人間性等」

小学校図画工作科の目標

表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や道具を使い工夫して、**創造的**につくったり表したりすることができるようにする。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、**創造的**に発想や構想をつくり作品として表現する。自分の見方・感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を**創造**しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。

(1)、(2)、(3)のそれぞれに「**創造**」を位置付け、図画工作科の学習が造形的な創造活動を目指していることを示している。

学習指導要領改訂のポイント (1) 目標の改善

小学校図画工作科の目標

表現及び鑑賞の活動を通して、**造形的な見方・考え方**を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる**資質・能力**を次のとおり育成することを

図画工作科の特質に応じた物事を捉える視点や考え方

感性や想像力を働かせる

対象や事象を、形や色などの造形的な視点で捉える

自分のイメージをもちながら意味や価値をつくりだす

学習指導要領改訂のポイント (1) 目標の改善

小学校図画工作科の目標

表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、**生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力**を次のとおり育成することを目指す。

図画工作科の学習において、**児童がつくりだす形や色、作品などや、家庭、地域、社会で出会う形や色、作品、造形、美術などと豊かに関わる資質・能力**

学習指導要領改訂のポイント (2) 内容の改善

「A表現」(1) 発想や構想に関する項目

- ア 造形遊び
- イ 絵や立体、工作

「思考力、判断力、表現力等」

「A表現」(2) 技能に関する項目

- ア 造形遊び
- イ 絵や立体、工作

「技能」

「B鑑賞」(1) 鑑賞に関する項目

- ア 鑑賞

「思考力、判断力、表現力等」

[共通事項](1)

- ア 造形的な特徴を理解する
- イ 自分のイメージをもつ

「知識」

「思考力、判断力、表現力等」

学習指導要領改訂のポイント (3) 指導計画の作成と内容の取扱い

指導計画の作成と内容の取扱い 解説P104～

- 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善
- 作品などの特質を踏まえた「B鑑賞」の指導
- 障害のある児童などへの指導
- [共通事項]のアとイの関わり
- [共通事項](1)アの指導
- 児童の思いを大切にした指導
- 互いのよさや個性などを尊重し合うようにする指導
- 言語活動の充実
- コンピュータ、カメラなどの情報機器の利用
- 創造性を大切にする態度

ICTの活用について

教育・学習におけるICT活用の特性・強み (GIGAスクール構想仕様において活用できるソフト・機能(例))

1人1台端末、高速大容量の通信ネットワーク環境下におけるICT活用の特性・強み	ソフト・機能
①多様で大量の情報の取扱い、容易な試行錯誤 (例)プログラミングにおける試行錯誤の繰り返しなど 論理的思考・課題解決	ウェブブラウザ、文書作成、プレゼンテーション、プログラミング
②時間的制約を超えた情報の蓄積、過程の可視化 (例)写真・動画の撮影・保存による学習過程の可視化による学習の振り返りや目標設定への反映	(①のソフト・機能に加え、)クラス管理、写真・動画撮影・編集・保存
③空間的制約を超えた相互かつ瞬時の情報の共有(双方向性) (例)ウェブ会議機能、ファイル共有機能等による学校と家庭他の学校・地域や海外との交流のような距離が離れた場をつないだ学習、他者との意見共有	(①のソフト・機能に加え、)コメント、アンケート、チャット、電子メール、ウェブ会議、ファイル共有

令和3年(2021)6月「GIGA StuDx 推進チームの取組について 新学習指導要領とGIGAスクール構想の関係」を参考に作成

ICTの活用についての事例

「ながさきARTTRIPーわたしだけの地図ー」(第5学年)
B鑑賞(1)ア、[共通事項](1)ア、イ

育成を目指す資質・能力

長崎県提供

- (1)自分の感覚や行為を通して、身近な長崎をテーマに描かれた絵における形や色などの造形的な特徴を理解する。
- (2)形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもちながら我が国や諸外国の親しみのある美術作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴などについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深める。
- (3)主体的に郷土長崎にゆかりのある作品を鑑賞する活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。

ICT活用のポイント

- ・美術館の学芸員と対話しながら所蔵作品を鑑賞できるように、教室と美術館とをオンライン会議システムで接続
- ・作品の細部まで鑑賞できるようにICT端末の拡大機能を活用

事例の概要

【作品鑑賞1】
美術館からA「長崎港の地図(中山文孝)」とB「長崎の丘(鈴木信太郎)」の2作品をWeb会議システムで配信し、大型モニター及びICT端末で鑑賞。その際、児童は、学芸員と対話しながら作品のよさや美しさを感じ取ったり考えたりする。
<めあて>「長崎を表した絵から感じたことを伝え合おう」

【作品鑑賞2】
地図に作品写真を貼付した「作品マップ」を作成するため、A、B以外の17作品を鑑賞しながら、「作品マップ」に取り入れる数点を各自で決める際にICT端末を使用。

作品鑑賞1
学芸員の解説
めあての設定

作品鑑賞2
「作品マップ」づくり

機器藍、発表

まとめ、振り返り

事例におけるICT活用場面

【場面① 美術館とリアルタイムでつながり、対話しながら作品を鑑賞する場面】

・離島部にも多くの学校がある本県の現状から、美術館の作品を学芸員と対話しながら鑑賞できる機会を設けることは、美術作品への興味・関心を高め、作品のよさや美しさを感じ取ったり考えたりして見方や感じ方を深めることにつながる。

・児童が作品から受けた印象を造形的な視点をもって友人と話し合えるようにし、学芸員は対話しながら適切なタイミングで作品の情報を伝えていくようにする。そのためには、教師と学芸員が、事前にねらいや学びを深める指導について共有しておくことが重要である。

【場面② 作品から自分なりに感じ取ったよさや美しさなどについて紹介している場面】

・作品鑑賞したり友人に紹介したりする際に、自分が見たい、見せたいと思ったところを拡大してじっくり見合うことができる。そうして作品の意図や特徴について話し合うなどして見方や感じ方を深める姿につなげることができる。

【場面③ 「作品マップ」を作成する場面】

・本授業では、マップ台紙に印刷した作品画像やコメントを貼付した。デジタルホワイトボードを効果的に活用し、ICT端末上でも、マップ台紙画像に作品画像やコメントを貼付することもできる。このような活動を行うことで、画像サイズの調整や貼り替えも自在で、児童は自分の感じたことや考えたことを短時間で整理し、多くの友達と共有して意見を交換することが可能となる。

【活用したソフトや機能】オンライン会議システム、デジタルホワイトボード

15 ※文部科学省のHPで事例を見ることができます <https://www.mext.go.jp/studxstyle/index2.html>

図画工作科における指導の改善

子供たちが、学習内容を人生や社会の在り方と結び付けて深く理解し、これからの時代に求められる資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的に学び続けたりすることができるようにするため、子供たちが「どのように学ぶか」という学びの質を重視した改善を図っていくこと。

中央教育審議会「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領の改善及び必要な方策について(答申) 平成28年12月21日

図画工作科における指導の改善

「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善

小学校学習指導要領 第7節図画工作 第3 指導計画の作成と内容の取扱い
1 指導計画作成上の配慮事項(1)

題材など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、児童の主体的・対話的で深い学びの実現を図るようにすること。

その際、造形的な見方・考え方を働かせ、表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた学習の充実を図ること。



ICTを活用した授業でも、この視点が大切

17

図画工作科における指導の改善 育成を目指す資質・能力を明確にする

2 内容

次の事項を身に付けることができるよう指導する

指導事項について
解説P146~147
「系統表」で確認

資質・能力で整理

A表現(1)
発想や構想

指導事項が確実に
指導されているか

[共通事項](1)ア

[共通事項](1)イ

A表現(2)
技能

B鑑賞(1)
鑑賞

18

造形遊びをする活動

次の事項を身に付けることができるよう指導する

資質・能力で整理

発想や構想をする

- ・活動を思い付く
- ・どのように活動するかについて考える

指導事項が確実に指導されているか

造形的な視点について理解する

自分のイメージをもつ

技能を働かせて表す

- ・材料や用具を使う
- ・活動を工夫してつくる

主体的に表したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。

造形遊びをする活動

発想や構想

第1学年
及び
第2学年

- ・身近な自然物や人工の材料の形や色などを基に造形的な活動を思い付くことや、感覚や気持ちを生かしながら、どのように活動するかについて考えること
- ・身近で扱いやすい材料や用具に十分に慣れるとともに、並べたり、つないだり、積んだりするなど手や体全体の感覚などを働かせ、活動を工夫してつくること

技能

第3学年
及び
第4学年

- ・身近な材料や場所などを基に造形的な活動を思い付くことや、新しい形や色などを思い付きながら、どのように活動するかについて考えること
- ・材料や用具を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、組み合わせたり、切っつけたり、形を変えたりするなどして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくること

第5学年
及び
第6学年

- ・材料や場所、空間などの特徴を基に造形的な活動を思い付くことや、構成したり周囲の様子を考え合わせたりしながら、どのように活動するかについて考えること
- ・活動に応じて材料や用具を活用するとともに、前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり、方法などを組み合わせたりするなどして、活動を工夫してつくること

[共通事項] (1)

造形的な視点について理解する

自分のイメージをもつ

絵や立体、工作に表す活動

次の事項を身に付けることができるよう指導する

資質・能力で整理

発想や構想をする

- ・表したいことを見付ける
- ・どのように表すか考える

指導事項が確実に指導されているか

造形的な視点について理解する

自分のイメージをもつ

技能を働かせて表す

- ・材料や用具を使う
- ・表し方を工夫して表す

主体的に表したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。

絵や立体、工作に表す活動

発想や構想

第1学年
及び
第2学年

- ・感じたこと、想像したことから、表したいことを見付けることや、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すかについて考えること
- ・身近で扱いやすい材料や用具に十分慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことを基に表し方を工夫して表すこと

技能

第3学年
及び
第4学年

- ・感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付けることや、表したいことや用途などを考え、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えること
- ・材料や用具を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表すこと

第5学年
及び
第6学年

- ・感じたこと、想像したこと、見たこと、伝えたいことから、表したいことを見付けることや、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じ、用途などを考えながら、どのように主題を表すかについて考えること
- ・表現方法に応じて材料や用具を活用するとともに、前学年までの材料や用具などについての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表すこと

造形的な視点について理解する

自分のイメージをもつ

[共通事項] (1)

絵や立体、工作に表す活動

表したいことを見付けること

発想や構想

表したいことを見付けるのは
児童自身

何をきっかけにしているのか

第1学年及び第2学年

感じたこと、想像したこと

第3学年及び第4学年

感じたこと、想像したこと、見たこと

第5学年及び第6学年

感じたこと、想像したこと、見たこと、伝えたいこと

そのためにどのような指導の充実を図るのか

感じたことと想像したことをつなげる、表したいことの変化に柔軟に対応する、興味や関心を生かす、題材や題材名の工夫、試しながら表す、経験を生かす、言葉で考えを整理する、友人と話す・・・

(解説P42、65、88)

絵や立体、工作に表す活動

どのように表すか考えること

発想や構想

どのように表していくか考える時間を設定する

第1学年及び第2学年

周りの友人と関わり合いながら自分の思いをはっきりさせたり、作りつつある形や色から発想を広げたりする

第3学年及び第4学年

自分の思いに合う表し方や見通し、順序などを考える

第5学年及び第6学年

自分の考えや活動を問い直しながら主題の表し方や計画を考える

どのように指導の充実を図るのか

材料や用具に触れながら考える、友人と話しながら考える、試しながら考える、材料や用具を比べながら選ぶ、これまでの経験を生かせるようにする・・・

(解説P42、65、88)

絵や立体、工作に表す活動

材料や用具を使う

技能

創造的に表すことを積み重ねることで身に付く

第1学年及び第2学年

材料や用具を安全に使いながらその扱いに慣れる

第3学年及び第4学年

表したいことに合わせて、材料や用具が適切かどうかを判断したり選んだりして、安全な使い方にも気を付けながら使う

第5学年及び第6学年

表現方法に合うように適切な材料や用具を選び、効果や可能性を確かめ、これを生かして使う

どのように指導の充実を図るのか

材料や用具を楽しく使えるような設定、鑑賞との関連、地域の材料や用具を取り上げる、材料や用具のよさについて理解し、活用していけるようにする・・・

(解説P47、70、93)

絵や立体、工作に表す活動

技能

自分の思いを基に表し方などを工夫することを重視する

創造的に表すことを積み重ねることで身に付く

第1学年及び第2学年

およその表したいことを基に、材料を用いたり用具を使ったりする中から感じたことを生かしながら表す

第3学年及び第4学年

およその表したいことを基に、材料や用具を選んだり、表し方を工夫する

第5学年及び第6学年

およその表したいことに合わせて、表し方や表現方法などを工夫したりつくりだしたりする

どのように指導の充実を図るのか

感じたことを生かしながら表すことや、用具を使うことから表現が広がるような指導、思い付いたことをすぐにできるような材料や用具を用意しておく、主体的に表し方を工夫できるような設定、材料や用具、表し方などを試すことができるようにする、自然に活動を交流できるようにする、材料や用具の効果や可能性に気付くような指導、新たな材料や用具との出会い方を工夫・・・

(解説P47、70、93)

鑑賞

次の事項を身に付けることができるよう指導する

資質・能力で整理

指導事項が確実に指導されているか

造形的な視点について理解する

自分のイメージをもつ

鑑賞する

・自分の見方や感じ方を広げたり深めたりする

主体的に表したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。

鑑賞

鑑賞（思考力、判断力、表現力等）

第1学年
及び
第2学年

身の回りの作品などを鑑賞する活動を通して、
自分たちの作品や身近な材料などの造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて、
感じ取ったり考えたりし、
自分の見方や感じ方を広げること

第3学年
及び
第4学年

身近にある作品などを鑑賞する活動を通して、
自分たちの作品や身近な美術作品、製作の過程などの造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、
感じ取ったり考えたりし、
自分の見方や感じ方を広げること

第5学年
及び
第6学年

親しみのある作品などを鑑賞する活動を通して、
自分たちの作品、我が国や諸外国の親しみのある美術作品、生活の中の造形などの造形的なよさや美しさ、
表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、
感じ取ったり考えたりし、
自分の見方や感じ方を深めること

[共通事項] (1)

造形的な視点について理解する

自分のイメージをもつ

〔共通事項〕

造形的な視点について理解する

自分のイメージをもつ

児童は、材料に触れて形の感じや質感を捉えたり、材料を見つめながら色の変化に気付いたりするなど、直感的に対象の特徴を捉え、理解している。同時に対象や自分の行為などに対して自分なりのイメージをもっている。そしてこれらを基に資質・能力を働かせて、具体的な活動を行っている。このような、形や色などの造形的な特徴を理解したり、イメージをもったりする資質・能力は、表現及び鑑賞の活動の基になるとともに、形や色などを活用したコミュニケーションの基盤となる。(解説P22)

〔共通事項〕をどのような場面にも含まれている事項として捉え、指導や評価を具体化する必要がある。

29

第3 指導計画の作成と内容の取扱い

〔共通事項〕

1 (3) 第2の各学年の内容の〔共通事項〕は、表現及び鑑賞の学習において共通に必要な資質・能力であり、「A表現」及び「B鑑賞」の指導と併せて、十分な指導が行われるよう工夫すること。(解説P107)

2 (2) 各学年の「A表現」と「B鑑賞」の指導を通して、児童が〔共通事項〕のAとIとの関わりに気付くようにすること。(解説P113)

児童は、材料に触れることによって、その形の感じや質感を捉えたり、材料を見つめながら色の変化に気付いたりするなど同時に、対象や自分の行為などに対して自分なりのイメージをもっている。

〔共通事項〕のAから引き続いてIが発揮されたり、Iを基に形や色などに気付いたりするなど、相互に関連し合う関係にある。

AとIは、同時に働いたり関連して働いたりしながら、具体的な活動が行われている。そうした自分の感覚や行為によって、自分なりのイメージが生み出されることを、造形遊びをする活動や絵や立体、工作に表す活動、鑑賞する活動を通して児童が気付くように指導することが大切である。(解説P113~114)

30

第3 指導計画の作成と内容の取扱い

[共通事項]ア(知識)

2(3) [共通事項]のアの指導に当たっては、次の事項に配慮し、必要に応じて、その後の学年で繰り返し取り上げること。(解説P114)

示された内容をそれぞれの学年を中心に扱うことを基本としながら、必要に応じて繰り返し取り上げ、児童が自分の感覚や行為を通して形や色などを捉える経験を重ねながら、次第に児童自身が気付いていくようにする。

第1学年及び第2学年 いろいろな形や色、触った感じなど

(例) 形には四角や丸といった形状、大きさ、長さ、線などのいろいろな種類があること、色には赤、青などのいろいろな種類があること、木材の表面のざらざらした感じ、粘土のずっしりとした重さや手になじむ感じなど

第3学年及び第4学年 形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなど

(例) 形の柔らかさ、色の冷たさ、色の組合せによる優しい感じ、面と面の重なりから生まれる前後の感じ、色の明るさなど

第5学年及び第6学年 動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなど

(例) 形そのもののもつ方向感、表面の材質感の違い、色の鮮やかさ、時間的な変化の動き、大きな建物の量感や奥行きの感じ、ものの動きやバランスなど (解説P114~115)

主体的・対話的で深い学び

必ずしも1単位時間の授業の中で全てが実現されるものではない

学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりして自身の学びや変容を自覚できる場面をどこに設定するか

対話によって自分の考えなどを広げたり深めたりする場面をどこに設定するか

児童が考える場面と教師が教える場面をどのように組み立てるか

自分の成長やよさ、可能性などに気づき、次の学習につながられるようにする

「この形や色でいいか」、「自分の表したいことは表せているか」など自分の行為や活動を振り返り、感じたり考えたりすることを大切にしつつ、互いの活動や作品を見合いながら考えたことを伝え合ったり感じたことや思ったことを話したりするなどの言語活動を一層充実する

育成を目指す資質・能力を明確にし、つくり、つくりかえ、つくるという学習過程を重視すること

33

令和3年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会報告書

【 小学校 図工 】

所属名 青森県総合学校教育センター
職名・氏名 指導主事 伴 貴代

【報告書のポイント】

■ 図画工作科の学習指導要領改訂のポイント

■ 図画工作科におけるICT活用

■ 図画工作科の指導の改善について

- ・育成を目指す資質・能力を明確にする
- ・主体的・対話的で深い学びの視点から指導計画を考える